

# 令和6年度能登半島地震 災害支援活動報告

日本栄養士会災害支援チーム

**JDA-DAT**

(The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team)

～わたしたちが避難生活の「食」を支えます～

静岡県栄養士会  
静栄DAT中村朱美

日本栄養士会災害支援チーム

**JDA-DAT**

(The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team)

## JDA-DATのご紹介

2011年3月11日に発生した東日本大震災をきっかけに  
**日本栄養士会災害支援チーム：JDA-DAT**を設立  
 (The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team)  
 静岡県栄養士会では「**静栄DAT**」として活動

### 【目的】

栄養・食生活支援活動を通じて被災地支援

### 【JDA-DATの活動】

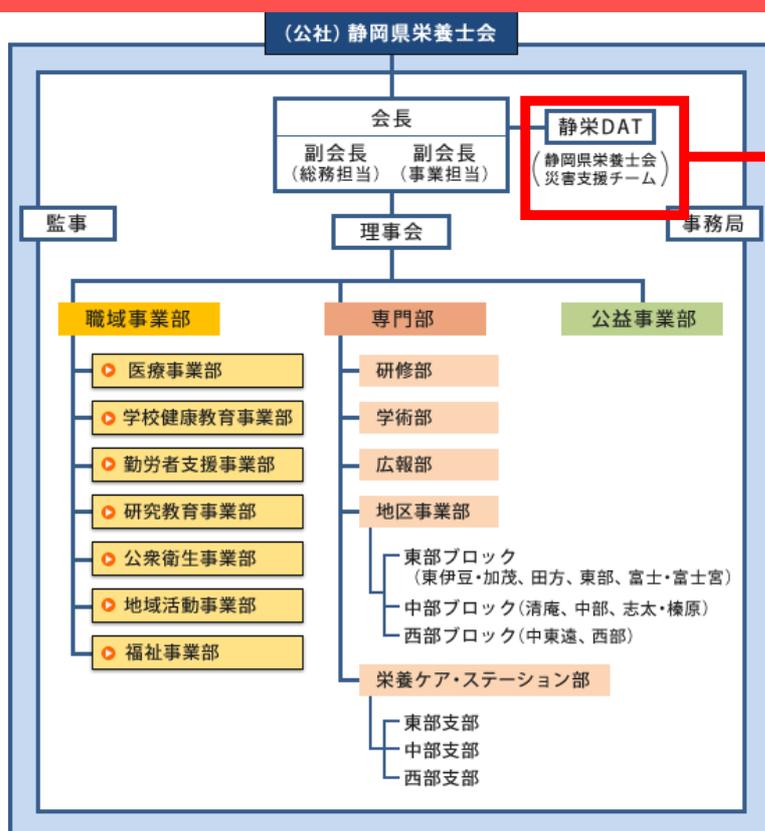
支援活動  
 人材育成/スタッフ・リーダー

DATになるには？

- ① 栄養士会員の所属都道府県で企画されたスタッフ研修を受講
- ② スタッフの中から各栄養士会長推薦によりリーダー研修を受講



静岡県栄養士会  
 組織図



日本栄養士会  
 災害支援チーム

※図：静岡県栄養士会ホームページ引用

令和6年  
1月4日開催

能登半島地震  
医療関係団体等緊急  
連絡会議

公益社団法人日本栄養士会 災害支援チーム (JDA-DAT)

令和6年能登半島地震での栄養・食支援活動

日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) は、保健医療活動チームの一組織として、多職種チームとの連携協働、及び管理栄養士等行政栄養関係者の関与の下、地域や避難所の実情を十分に考慮した**栄養・食支援活動を継続的に実施**することを責務とする。

1 日本栄養士会のこれまでの対応 (1月4日 11:00時点)

- **JDA-DAT先遣隊派遣** (1月2~3日)  
石川県健康推進課、石川県栄養士会、厚生労働省健康課栄養指導室との協議 (1月2日)
- **日本栄養士会災害対策本部の設置 (1月2日 20:30設置)**
- 石川県保健医療福祉調整本部及び石川県栄養士会と連携し、  
**特殊栄養食品ステーションの設置** (乳幼児、高齢者、病者など要配慮者向け食品)  
(1月3日 13:30 七尾市内の認定栄養ケア・ステーションに設置)
- **JDA-DAT号の配備** (1月3日 13:30 七尾市内に配備)
- 災害対策本部及び保健医療調整本部との調整により、  
**公立能登総合病院 (DMAT拠点) へ液体ミルク搬入**。  
能登半島北部地区で液体ミルクを要する避難所へは  
DMATチームに持参依頼。
- **賛助会員等企业への支援物資の提供依頼**と搬送等調整 (1月4日)



令和6年  
1月4日開催

能登半島地震  
医療関係団体等緊急  
連絡会議

2 日本栄養士会の今後の活動

【当面 1 週間以内を目処に対応】

- 被災地への**JDA-DATリーダー派遣調整** (近隣県栄養士会への依頼)
- **JDA-DAT指揮車両等の追加配備及び物資搬送**  
(災害緊急車両は3台以上配備予定)
- **特殊栄養食品ステーションサテライト拠点**の設置  
(能登半島北部拠点へ設置)
- 支援金の募集



3 栄養・食支援活動における課題

- 避難生活の長期化に伴い、エネルギー・栄養素摂取不足の影響による**栄養不良や体力低下が顕著**になる。
- 栄養不足の回避、生活習慣病の発症・重症化予防、生活の質の向上等のために、日中の作業量や健康・栄養状態等を踏まえた食事の提供や評価を行うなど、**適切な栄養管理を図る体制の整備が急務**である。

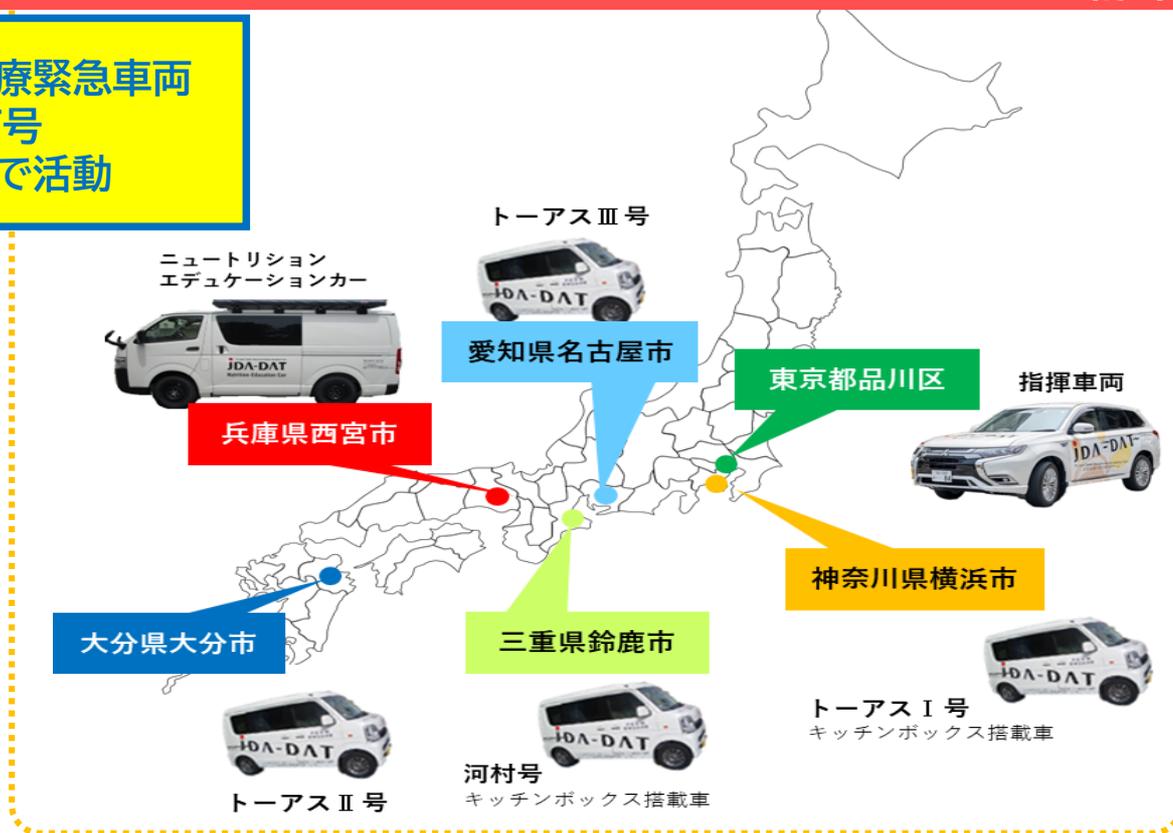
日本栄養士会としての活動

避難所等の栄養・食生活支援体制を整えるため、管理栄養士等の行政栄養関係者と連携した活動が必要

更なる情報収集(被災状況・支援ニーズ)及び人的支援を進め、被災地への継続的な栄養・食支援活動を行う。  
厚生労働省をはじめ、保健医療活動チームなど多組織との連携を強化する。



災害支援医療緊急車両  
DAT号  
石川県で活動



1月1日能登半島地震発生

①被災地に先遣隊を派遣

1月2日：日本栄養士会災害対策本部（東京）

②石川県栄対策本部設置  
状況に応じた支援決定

③東海北陸ブロックのみ  
DiMSで派遣調整実施

1月6日

静岡県栄養士会

1月1日能登半島地発生

①被災地に先遣隊を派遣

1月2日：日本栄養士会災害対策本部（東京）

静栄仮確定で待機③

3人1組で4泊5日②

静栄DATリーダーに要請①

1月7日第1報を受け

②石川県栄対策本部設置  
状況に応じた支援決定

③東海北陸ブロックのみ  
DiMSで派遣調整実施

1月6日

静岡県栄養士会災害対策本部（事務局）

派遣調整システム（日本栄養士会考案）

DiMS ~Dietitian Matching System~ © Japan Dietitian Association

DiMS(Dietitian Matching System)

DATスタッフを事前登録  
一斉送信で  
迅速な人材確保を実現



DiMS ~Dietitian Matching System~ © Japan Dietitian Association 中村 朱美

支援日入力・確認 支援先 支援先 / 支援日入力・確認

支援先名 令和6年能登半島地震 支援先詳細

令和6年能登半島地震（東海・北陸）

支援不可  支援不可の場合は

移動手段：車か公共交通機関か

車運転が可能か不可か

< 2024年1月 >

■ ■ ... 確定 
 ■ ... 調整中 
 ■ ... 入力

日	月	火	水	木	金	土
---	---	---	---	---	---	---

< 2024年1月 >

■ ■ ... 確定 
 ■ ... 調整中 
 ■ ... 入力

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13 終日対応可能 移動日(往路)○
14 移動日(復路) 終日○	15 終日○	16 終日○	17 移動日(復路)○	18	19	20
21	22	23	24 終日対応可能 定数充足×	25 終日対応可能 定数充足×	26 移動日(復路) 定数充足×	27 定数充足×
28 定数充足×	29	移動日（往路・帰路），終日活動可能，等を入力				3

					2024/01/13(金)	2024/01/14(日)	2024/01/15(月)	2024/01/16(火)	2024/01/17(水)	2024/01/18(木)
					未確定	未確定	未確定	未確定	未確定	未確定
都道府県	性別	運転	移動手段	JDA-DAT登録状況						
静岡県	女	○	公共交通機関	スタッフ	×	×	×	×	×	×
静岡県	女	×	車(自家用車)	スタッフ	×	×	×	×	×	×
静岡県	女	○	車(自家用車)	リーダー	×	×	○	○	○	○
静岡県	女	○	車(自家用車)	リーダー	×	×	×	×	×	×
静岡県	女	○	車(自家用車)	リーダー			×	×		×
静岡県	女	○	車(自家用車)	リーダー						
静岡県	男	○	公共交通機関	リーダー	移動日(往)	○	○	○	○	移動日(復)
静岡県	女	○	車(自家用車)	スタッフ		×	×	×	×	×
静岡県	女	○	車(自家用車)	スタッフ	×					

1月1日能登半島地発生

石川県栄と確定

①被災地に先遣隊を派遣

出動

1月2日：日本栄養士会災害対策本部（東京）

静岡仮確定で待機③

②石川県栄対策本部設置状況に応じた支援決定

3人1組で4泊5日②

静岡DATリーダーに要請①

③東海北陸ブロックのみDiMSで派遣調整実施

1月7日事務局にて

1月6日

静岡県栄養士会災害対策本部（事務局）

静栄DAT運営委員構成メンバー16名

職域	役職・ブロック・氏名	役職・氏名	役職・氏名
三役	会長 新井	副会長 若林	副会長 久保田
運営理事	部長 中村	理事 渡邊	理事 池谷
	理事 戸田		
ブロック委	<b>第1陣 1月13日～1月17日</b>		
	西ブロック	リーダー（部長兼務）	サブリーダー 磯村
アドバイザー	県庁管理栄養士 内藤		
オブザーバー	県庁管理栄養士 日置	行政管理栄養士 塚本	
事務局	事務局長 安倍		

1月13日（土）

石川県栄養士会事務局内



浜松出発から6時間後  
14：00頃

- 14：45
1. 被災状況の説明
  2. 役割分担
  3. 配車調整
  4. 宿舎説明

**1班 避難所支援**  
静岡県：2名  
埼玉県：1名

**2班 物資運搬班**  
長野県：3名  
東京都：1名  
静岡県：1名  
埼玉県：2名

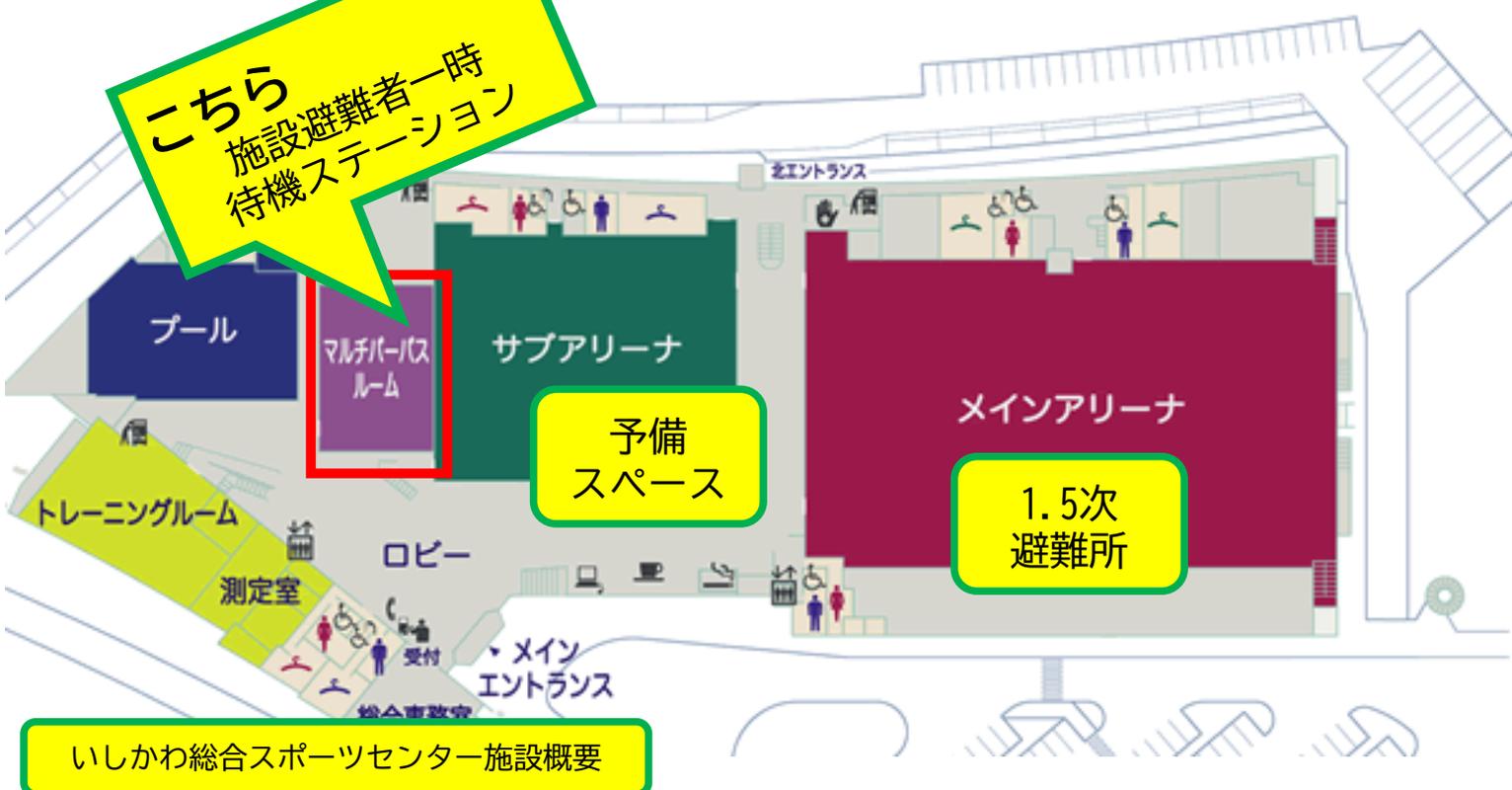
## 1.5次避難所とは

高齢者や障害者など  
配慮の必要な被災者  
を同伴者とともに被災  
地外で受け入れる  
施設

日本YMC同盟引用



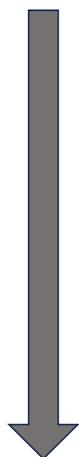
こちら  
施設避難者一時  
待機ステーション



いしかわ総合スポーツセンター施設概要

1月14日（日）～1/16（月）

1日のスケジュール



1月17日（火）

昼食までご提供帰路  
21：30自宅へ

時間	内容
6：00	宿舎出発
6：40	朝食の準備・提供7：00～
8：00	片付け・昼食提供準備（食事箋確認・名簿更新・食札作成・発注・在庫管理・物資調達等）
9：00	全体会議：県職員・DMAT・DWAT・JVOAD・JRAT・DPAT JDA-DAT・看護協会・介護福祉士・保健師
9：30	コア会議：1.5次避難所・施設避難者一時待機ステーション
10：00	昼食提供の準備・提供11：30～・片付け
13：15	昼食
13：45	夕食提供の準備・提供17：30～・片付け 翌朝の食事提供準備
20：30	業務終了
21：00	宿舎

## 石川県栄養士会員避難所担当者のお話

### 孤立地域の病院管理栄養士から発災4日目の通話内容

「患者に1日1個のおにぎりで過ごしてもらっているが  
いよいよ、明日食べる物も経管栄養食品も無くなる、せめて  
経管栄養だけでもなんとか届けてほしい」

と悲痛な連絡が入っても、個人にできることは限界があり  
なじみの業者に連絡を取るくらいしかできなかった

## 第1陣として避難所支援に行った私が思ったこと その1

水が無いと報道で大きく取り上げられています。水だけあってもバランスの取れた食事「**栄養**」をしっかりと補給しなければ復興のための膨大な活動量に耐える肉体や眠れぬ夜が続く中、精神状態を正常に保つことはできません。

支援される側・する側ともにバランスの取れた食事は発災直後から必要不可欠です。  
食べられるだけでもありがたいという気持ちも時には大切ですが、甚大な被害が出ている自然災害を乗り越えるためには、平時以上に「**栄養素**」の力を借りる必要があります。

## 第1陣として避難所支援に行った私が思ったこと その2

寒い季節の炊き出しの報道は心が和みますが  
健常者が食べる物であって  
厨房設備のない避難所で**嚥下調整食**を召し上がっている  
方々にはまったく関係のない食べ物になります。  
栄養状態を改善しなければならぬ被災者は取り上げられていないだけで想像をはるかに超えて多数おられます。

災害は他県で起きている**他人事**ではなく、**自分事**として考え、今から栄養を確保する行動をとらなければ有事に間に合いません。

その後の 静栄DAT派遣状況

第2陣： 1月24日～1月28日/1名

第3陣： 2月 7日～2月11日/3名

第4陣： 2月22日～2月26日/3名

第5陣： 3月16日～3月20日/3名

第6陣→石川県が3月20日要請解除のため中止

2回目の  
支援

今回の任務

石川県の支援要請は3月20日まで/DAT撤退

引継ぎ業務

パソコン操作の説明



石川県栄養士会会員

自立支援

1.5次避難所閉鎖  
に向けて



介入していた要配慮者  
自立を促す

今回の任務

栄養相談ブース

引継ぎ業務

自立支援



No.	相談者情報	相談内容	アドバイス
No.1	氏名 (性別・年齢) 相談者情報	相談内容	アドバイス
No.2	氏名 (性別・年齢) 相談者情報	相談内容	アドバイス
No.3	氏名 (性別・年齢) 相談者情報	相談内容	アドバイス

第5陣としての避難所支援に行った私が思ったことその1

いしかわ総合スポーツセンターには  
 他の避難所にはいない  
 医師・看護師・保健師・介護士・リハビリ・栄養士  
 その他の団体・行政職員・が常駐しており  
 食事・電気・水道・暖房設備・洗濯設備・トイレ  
 シャワールーム・Wifi完備  
 閉鎖されるまでは出ていかないという方がほとんど  
 手厚い対応の長期化には検討が必要だと思いました。  
 自立の機会が先延ばしになる

## 第5陣として避難所支援に行った私が思ったことその2

他の職能団体が撤退していく中、閉鎖まで一定の人数確保が必要な職種は**介護士**と**栄養士**

「寝て・食べて・出す」当たり前の生活を継続するために他の職能団他と連携する**栄養士・管理栄養士の力が有益**であることは明白

設置されたすべての避難所の食材を統括して管理する人材や仕組み作りが必須である

この事実を行政に伝え続け役割分担を決めることが責務

### まとめ

#### 「非常事態の食事」

我慢する

不謹慎

気持ちがふさいで食欲がない

美味しいものが食べたい

温かいものが食べたい

他者の食事行動に怒り

はやく元通りの食事がしたい

同じものばかりで飽きた

## まとめ

### 「非常事態の食事」

栄養士・管理栄養士だからこそ伝えられること

食に対するすべての感情は人間として当たり前  
どんな時でも**栄養・栄養素**は必要不可欠

**食を取り扱う業種**という立場を有効活用して**食の大切さ**を  
伝えていきたい

## 最後に

平時から有事まで必要なのは十分な栄養

フェーズ0のJDA-DAT/静栄DATの役割

他の職能団体にはできない  
食事・栄養を取り巻くあらゆる環境を整えること  
栄養士・管理栄養士の職責

## 静栄DATスタッフ・リーダー募集

- ▷研修日：令和6年8月24日（土）
- ▷場所：サンウェルぬまづ
- ▷申込：詳細は7月1日HP掲載



ご清聴ありがとうございました

# 令和6年度能登半島地震 災害支援活動報告

日本栄養士会災害支援チーム

**JDA-DAT**

**(The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team)**

～わたしたちが避難生活の「食」を支えます～

静岡県栄養士会  
静栄DAT杉本尚子

## 派遣決定から活動終了までの経過

月日	内容
1月7日	JDA-DAT支援者募集のメール受信
1月20日	東部ブロック研修会（三島会場）にて、池谷理事に日程調整可能であることを伝える
1月22日	静岡県栄養士会から池谷理事、石垣氏、杉本の派遣内定の連絡
1月23日	チーム3人でZoomによる打合せ実施
1月25日	DiMS上で派遣決定を確認
2月6日	石川県栄養士会から派遣先等の連絡
<b>2月7日</b>	静岡県を出発～正午頃に金沢着 金沢駅で七尾チームと分散 14:00頃スポセン到着 夕食提供から活動開始
<b>8日～10日</b>	三食の食事提供・会議議事録作成等の業務に参加
<b>2月11日</b>	午前で活動終了 静岡県に帰着

# いしかわ総合スポーツセンター（スポセン）



## 【概要】

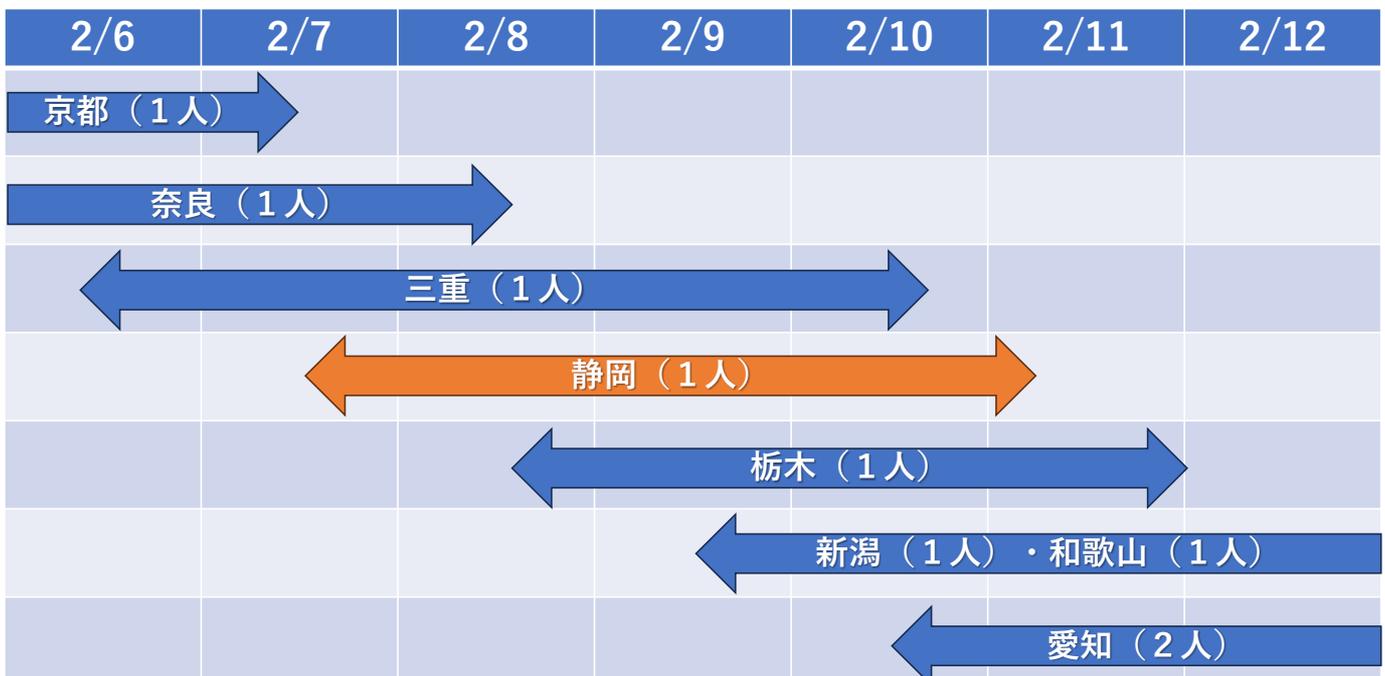
- いしかわ総合スポーツセンター（スポセン）は、二次避難先への一時的な待機場所として1月8日に開設された1.5次避難所です。
- 開設後、要介護度の高い方の受け入れが開始されたことから、スポセンは1.5次避難所に一時待機ステーションと呼ばれる介護施設が併設された状態で運営されています。
- サブアリーナおよびマルチパーパスと呼ばれる2つの体育館に、老健レベルを対象とした120床と、特養レベルを対象とした40床が設置されています。
- サブアリーナ（老健レベル）・マルチパーパス（特養レベル）ともに水道・排水・加熱機器などはないため、事務室内にあるスペースでレトルト食品などを温めて食事提供をしています。

## ●食事提供の大まかな流れ

1. 食事は **3種類（嚥下食コード分類：j・2・3）** に分類されています。
2. コード2の食事は、**事務室で湯煎機または電子レンジで温め** 青い保温ボックスに入れます。
3. コード3の食事のうち、**昼夕の食事は宅配弁当（まごころ・宅配クック123）を提供** します。弁当は業者からチルドで届きます。弁当は電子レンジ（強20秒）で再加熱します。朝食はコード2の食事と同様です。  
（宅配弁当は**キッチンカー内のスチコンで温める** こともあります）
4. 宅配弁当は主菜のみです。主食は事務室内で温めます。
5. 配食準備は、マルチ（ベッドA～F）とサブ（ベッドL～U）の2か所で行います。
6. 食事は袋またはトレーにのせて、会場で食札をつけます。
7. マルチは、利用者名（アイウエオ）順に棚へ並べます。
8. サブでは、ベッド番号（L～U）順にまとめて棚に並べます。

（石川県栄養士会作成 2月11日段階のスポセン業務の概要より抜粋）

## JDA-DAT派遣状況



# JDA-DAT として何ができるのか…

## 活動終了後、飲食をしながらの情報交換

- ・ 現地スタッフ（石川県栄養士会）の負担の大きさ
- ・ 自分たちの役割は・・・
- ・ 短期間で出来ることは・・・  
→DAT間で引継ぎができるようにしたい！⇒マニュアル化

## ★案として、日栄・石川県栄に提案していくことに

### 【JDA-DAT の主な役割】（決定版：2月11日時点）

1. 一時待機ステーションの食事箋の管理、食札作成、食事提供
2. 会議出席、会議の記録の作成
3. メインアリーナでの栄養相談（11：40～13：00）

## DATメンバーの活動担当案 ～引継ぎ考慮

活動日	内 容
移動日	施設内見学、食事提供の流れを把握
1日目	スチコン・配膳担当      会議録担当
2日目	食札担当      相談担当
3日目	食札・スチコン・配膳のフォロー      相談担当

自分の経験を次につなげる仕組みを検討（2月10日時点）

石川県  
栄養士会  
スタッフ



ゴールの见えない  
マラソンランナー

約1か月間休みなくスポセンでの支援を  
限られた人数、制限の多い環境下で  
いかに支援を継続するか  
重きを置いている

JDA-DAT



100m走

短期間の支援で少しでも状況を改善  
しようと色々な提案やルールの導入  
を試みる

## マラソンをしているスタッフに伴走するような支援を

### 活動を振り返って・・・

- 課題を共有し、目的をもってチーム一丸となって活動できた
- 指揮命令系統を知り、支援全体や多職種との連携に配慮すること  
～突っ走らない！
- 受援者の視点に立つことの重要性  
～熱海土砂災害時の活動を共有できたからこそその学び  
～栄養士会としての受援体制の準備も学んでいきたい

**貴重な経験の機会をいただき、心より感謝申し上げます**

静岡県栄養士会定時総会  
2024年6月1日（土）

# 令和6年度能登半島地震 災害支援活動報告

## 珠洲市支援について

日本栄養士会災害支援チーム

### JDA-DAT

(The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team)

～わたしたちが避難生活の「食」を支えます～

静岡県栄養士会  
静栄DAT池谷広美

2024.1.1 16:06～ 石川県 能登半島 甚大な地震

2024.1.1 17:50～ 東海北陸ブロックリーダーのラインに  
各県のリーダーから発災状況が送られてくる  
(富山・石川・福井・岐阜・愛知・三重・静岡)



安否確認

2024.1.6 【JDA-DAT】令和6年能登半島地震の現状報告と支援要請について  
静岡県栄養士会から連絡

2024.1.7 【JDA-DAT 【DiMS】  
「令和6年能登半島地震」支援者募集のお知らせ

## 2024.1.7 【JDA-DAT【DiMS】登録のお願い

- 1県栄3人1グループで活動する
- 日程調整をDiMSで実施
- 保険については、支援者が確定した時点で、日栄で一括加入（対応）

静栄の派遣者が確定した後、日栄の派遣者情報を整理し、再調整後に最終確定  
無理の無い範囲で日程の入力をお願いいたします。

2024.1.25 【日本栄養士会災害対策本部】 令和6年能登半島地震

＜JDA-DAT＞ 出動について

1/16 DMS日程入力（第2陣）

1/22 静栄対策本部から日程の調整依頼あり、石垣会員・杉本会員と調整

1/25 【日本栄養士会災害対策本部】 令和6年能登半島地震＜JDA-DAT＞

**期間：2月7日（水）～2月11日（日）※移動日含む**

**1/27～2/2** 石川支援チーム間で、連絡調整、往復経路の相談 等

2/5 【日本栄養士会災害対策本部】 令和6年能登半島地震＜JDA-DAT＞

活動内容・活動場所について連絡

①七尾を拠点に能登地区の各避難所巡：池谷会員、石垣会員

②金沢市内の1.5次避難所いしかわ総合スポーツセンター

での栄養相談・食事提供等：杉本会員

## 2/5 緊急のお知らせ

**JDA-DAT の研修で学んだ、災害支援活動に入る前及び後の心構えをもう一度思い出してください。**

JDA-DAT において被災者支援は非常に重要な活動であり、研修時にも十分な検討と配慮が必要

であることはお伝えしたとおりです。しかしながら、今回の能登半島地震における支援活動において

様々なトラブルが既に発生しております。今一度、被災者支援の際に注意すべきいくつかのポイント

を確認して支援活動を行ってください。

## 2/6, 2/7 石川県栄養士会から連絡

活動内容等について説明動画を作成いたしました。来県いただく前にご視聴いただけますと幸いです。

連絡先リスト：災害用連絡先リストになります。

石川県栄養士会事務局LINE

石川県栄養士会Instagram

能登半島地震に対する栄養士会の支援や取組みを配信いたします。

**一般の方に対し誤ってフォロー許可すること避けるため、フォローを希望される方は、以下のリンクより必要事項をご記入の上送信してください。**



フェーズ3（1か月）

活動日：2024年2月7日～11日  
（8日～10日の3日間）

活動拠点：七尾 能登島

### 【活動内容】

- ①能登島を拠点に珠洲市の各避難所巡回  
1日3避難所の巡回

フェーズ3 (発災後1週間~1か月)

活動拠点：七尾能登島

【活動内容】

①珠洲市内各避難所巡回

1日3避難所の巡回

1チーム3人編成

2/ 8：静岡2名 京都1

2/ 9：静岡2名 栃木1

2/10：静岡1名 栃木1名 新潟1名





## 【活動内容】

①能登島を拠点 7:00～7:30出発



珠洲市健康センターに 10:00着  
担当管理栄養士と支援の打ち合わせ  
各避難所巡回 (3避難所)



避難所A 報告書作成・記録写真

避難所B 報告書作成・記録写真

避難所C 報告書作成・記録写真

珠洲市保健所に戻り報告 2:30



能登島拠点に向け出発 3:00



避難所本部に行き、炊き出しなど食事状況を聞く

① 事前に確認が必要な避難者に対する相談業務

② 支援物資や特殊食品の不足がないか状況確認

③ 持病のある方の相談

③ 炊き出し等、食事状況の確認



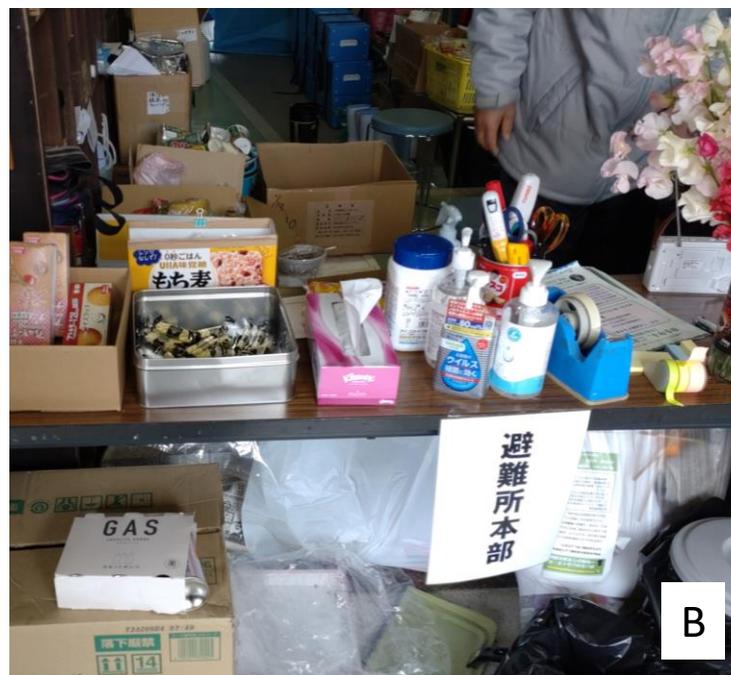
【ライフライン】 水：断水 電気：一部復旧 熱源：プロパン

## A 小学校

## B 中学校



炊き出し予定表				
時間 日付	朝	昼	夕	飯 塚 30 夕25
8日(木)		ひのきしん降ゆり 中華丼		
9日(金)		手ごねより 牛丼	おひな祭り 煮物	
10日(土)		FEARLESS チャレンジャー		
11日(日)			富士山スノボセンターより カレー	
12日(月)		富士山スノボセンターより		
13日(火)		財団法人から チヂミ	富士山スノボセンターより	
14日(水)		財団法人から		



## 栄養・食支援内容

### A小学校

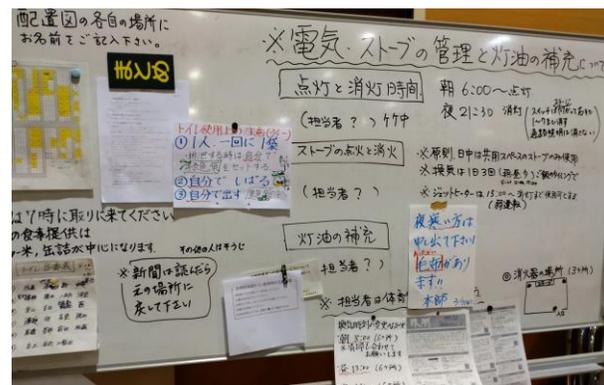
- 避難者 102名
- 食事状況
- 炊き出しがあるため充実している
- ボランティアの食材の寄付もあるためバランスが取れている
- 用配慮者の聞き取りを行った

### B中学校

- 避難者 90名 食事70名
- 食事状況
- アルファ米ばかり食べている
- 炊き出しがあまりない
- 調理ができないため、レトルトになる
- 困りごとのチラシを配ってもらった

【ライフライン】 水：断水 電気：一部復旧 熱源：プロパン炊き出し

## B中学校



前日の避難所の報告を受け  
B中学校に再度訪れ、食事のバランス改善のため、  
行政の職員と一緒に、避難物資の整理に訪れた  
・主食になるもの・主菜になるもの・副菜になる  
ものに分けるようさせてもらえないかお願い  
したが、本部の方に断られてしまった。  
代わりに、黒板にお困りごとのポスターを張っ  
てもらおうように頼んだ

炊き出しがあり、親子どん  
ぶりを配っていた

# 珠洲市（9日～10日） ・ 準避難所

【ライフライン】 水：断水 電気：一部復旧 熱源：プロパン炊き出し

## C準避難所（文化交流センター）



自衛隊の炊き出し所があり、避難者は食事をもらいに行っていた

## 珠洲市健康増進センター

センターの特殊食品ステーションに幼児食のアレルギー対応食品が届いたため、中身を確認した。

- 避難者 20名

### 食事状況

- 自衛隊の炊き出し所があり、避難者は食事をもらいに行っていた
- 困りごとのチラシを配ってもらった



【ライフライン】水：断水 電気：一部復旧 熱源：プロパン

## D自主避難所



前日の昼食用に配られたお弁当



## E自主避難所

共通  
避難物資だけ被災者が取りに来る。  
家が全壊もしくは半壊なため、夜寝るために戻るので、昼は避難している方は少ない



## 栄養・食支援内容

### B旧上黒丸小学校

- 避難者 13名 在宅79名
- 避難物資の聞き取り
- 避難所の状況確認
- 避難物資の管理のため2人在中
- 前日の昼に配布されたお弁当があり、食べないように伝えた

### D上山集会所

- 避難者7名 在宅11名
- 避難物資が来たら、在宅に避難している人に届けているため
- 農家が多いため、野菜やコメはある
- 水が足りない

- 毎日の活動報告【珠洲市】避難所巡回栄養記録表に記載
- 写真は、ライングループを作ってもらい、避難所の写真を送るようになった
- 毎日の活動報告【日栄】DMSを使い活動報告を記入
- 支援チームで拠点に戻り、報告会

発災から1つか月程たつと、DMATも撤退日を決め、災害支援住宅の建設も始まり、避難所の統合・縮小の検討も始まる次期です。

聞き取りのお話をしている中で、別のチームと重なった時がありました  
その時「また来た」と言われたのでストレスやイライラがたまっているな～  
そんな時期だからこそ基本的な事です、支援に入るという事は  
押しつけでなく、困りごとの支援をする、指示されたことをきちんと行う事が重要で改めて**①コミュニケーションと尊重②文化的な異なりと配慮③プライバシーの保護④安全確保が大切だと感じました**

ご清聴ありがとうございました

静岡県栄養士会定時総会  
2024年6月1日（土）

# 令和6年度能登半島地震 災害支援活動報告

## 能登町支援について

日本栄養士会災害支援チーム

### JDA-DAT

(The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team)

～わたしたちが避難生活の「食」を支えます～

静岡県栄養士会  
静栄DAT スタッフ 久保田美保子

石川県能登町



# フェーズ3~4(発災後2か月)

・活動日：2024年2月22日~26日 (23日~25日の3日間)

<22日>石川金沢市⇒七尾市(拠点)⇒トーアス2号(能登島)

・千葉(2名)&静岡(1名)でチーム編成

・神奈川チーム(3名)と同時に活動

\*岡山チームから引き継ぎ

<23~25日>能登町避難所巡回

1日3か所 能登町役場⇄内浦地区

\*24日岡山チーム終了 \*25日夕大阪チーム到着

<26日>移動⇒金沢市 スポセン従事2名と合流帰宅



能登町支援活動 内浦地区

\*DMATなどの医療チームは2月18日終了



避難所



能登町役場



内浦地区避難所 2024.2.22現在

広域：3 (40~72人)

準広域：3 (2~31人)

自主：8 (4~12人)

福祉：1 (12人)

\*長野県福祉ボランティアが運営

# 栄養・食生活支援内容

## <栄養・食生活支援活動>

- ・「**低栄養**」への支援（リーフレット配布など）
- ・避難所での活動時間、内容、状況、結果、課題のまとめ
- ・特記事項：**事前に確認が必要な避難者に対して聞き取り**

毎日の活動報告  
2枚の書類、写真等を  
LINEで報告

## <各避難所の全体把握>

- ・避難所で提供している**食事**（3食間食のメニュー、提供方法）
- ・**炊き出し**の詳細（自衛隊、ボランティアなど、期間等）
- ・**物資**の詳細（アルファ化米、水、パン、たんぱく源、野菜など）
- ・特記事項（物資等支援の必要性、栄養食品配布の報告など）

**\*被災者の自立した生活に向けた準備をしていく段階**

# 広域避難所（例）

## <A小学校>

40名\*断水

地域ボランティア  
支援物資で  
3食の食事を提供

栄養バランス、塩分  
過剰摂取を心配し  
**カップ麺**は週1回

**冷蔵庫**が入り納豆や  
ヨーグルトも支給可  
能になった

## <B中学校>

72名\*水道可  
調理室利用可能

外部ボランティア  
(高校生など)  
炊き出し日程を調整

定時に食事提供  
**支援物資は自由に  
持っていける状況**

中学校の調理室で  
温めなどできる

**汁を廃棄するバケツ**  
設置あり

**菓子**などは置くと  
すぐなくなる

# 広域避難所 A小学校



静栄DAT

## 準広域避難所(例)

### <C公民館>

31名\*水道可  
(家屋倒壊)

公民館職員管理  
避難者の有志で  
食事提供を分担

炊き出しは不定期  
公民館の限られた  
スペースで調理  
(米や野菜も使用)

**独居者、高齢者多い**  
細かい配慮が行き届  
かない

### <D分署>

消防署2階  
2名\*水道可

自主避難  
(自宅倒壊)  
物資提供は十分

3食避難者が主体  
スーパーに買い出し  
炊き出しは他で調達

持ち込み食の**保存に**  
問題 **偏食の懸念**  
(冷蔵庫なし)

### 共通の問題

避難者自身で運営  
物資調達  
食事管理・衛生

物資調整に不満  
乳製品・野菜不足  
炊き出し頼れず

# 準広域避難所 D分署



静栄DAT

## 自主避難所(例)

### <E施設>

10名\*水道可  
(自宅は断水)

施設職員と  
避難者  
(責任者不在)

カセットコンロで  
汁物など作っている  
地元の野菜持ち寄り

支援物資を自由に  
食べられる環境  
インスタント食品

### <F集会所>

8名\*水道可  
(自宅は断水)

町内会長が責任者  
自主避難  
(自宅損壊)  
物資提供は十分

ストーブ使用  
温め煮炊き可能  
スーパーに買い出し  
地元野菜、魚調達

血圧の高い人が多い  
昼カップ麺で済ます

### 共通の問題

炊き出しはこない  
避難者で運営  
物資の調整困難

健康面の問題  
集団で食事をする為  
個人で食事は調整  
しにくい

## 自主避難所 F集会所



静栄DAT

## 栄養・食生活支援報告

### <健康上の問題点>

- 「**低栄養**」への支援⇒該当者なし  
自立しているが、体重増加、減少傾向の避難者もいる？
- 健康管理（医療チームによる教育）  
血圧計、体重計などの設置、運動や体操の時間を設けるなど工夫  
⇒**継続が課題**
- 持病のある方への対応  
**糖尿病**：通院していない 内服の自己中断、食事管理が難しい  
**胃瘻の管理**：栄養剤は薬局との連携あり 家族が管理  
⇒**通院を促す 能登町の管理栄養士に報告・引継ぎを行った**



# 栄養・食生活支援報告

## <献立の問題点>

- ・ 支援物資の量、味を調整しにくい、できない  
「飽きたがそれしかない」「残せない」「汁まで飲む」
- ・ 支給されるお弁当には、メニューに偏りがある  
「から揚げ弁当」「おにぎり」⇒野菜不足、炭水化物・脂質過剰
- ・ 炊き出しは外食のような食事だった  
カレー、ハンバーグ弁当、牛丼、  
ラーメン等チェーン店が応援

## \*スーパーやコンビニで

野菜や野菜ジュース、乳製品などの購入



「さあにぎやかにいただく」を実践！  
能登町健康福祉部で普及啓発

# 栄養・食生活支援報告

## <特殊栄養食品で実際に支給したもの>

- 野菜ジュース ○食物繊維（便秘の方）
- ふりかけ（Ca強化等）
- △やわらか食 流動食（対象者なし）

## \*支援物資（自衛隊より届けられる）

- パックご飯、カップ麺、パン、お弁当（から揚げ）
- カレー、シチュー、親子丼、牛丼
- 缶詰（鯖、鰯、焼き鳥）
- 菓子（煎餅、ビスケット）飲料（粉末コーヒー等）
- 果物（バナナ、みかん、りんご？）サプリメント

\*炊き出し：ごはん、ポテトサラダ、豚汁など



特殊栄養食品ステーション  
石川県七尾市

## 栄養・食生活支援の今後

### <特殊栄養食品支援について>

- ・フェーズによって必要な支援物資を検討  
例)アルファ化米⇒パックご飯⇒炊飯へ
- ・栄養を強化した食品はその使用方法も伝えられるように（資料等）

### \*自衛隊からの支援物資配給について

- ・配給の量、内容の調整が可能か？（責任者と連絡がとれる体制）



- ・赤緑黄の3色食への推奨（物資の並べ方、ポスターで啓発）
  - ・支援物資の過剰に対し工夫した食べ方を提案
- \*被災する前に日頃からパッククッキングの普及

## 被災者支援とは

その人をどうしたいかではなく  
 その人がどうなりたいか  
 どうなっていくのかを見守り支援する（共助）  
 その人だけでなく、その市町、県全体の支援である  
 ローカルルールを導入しない  
 あくまでも自立、復興を目指す

石川県栄養士会担当者

ご清聴ありがとうございました